

# 複数組織コンソールのUmbrella SSO検証の構成

## 内容

---

[はじめに](#)

[概要](#)

[一般的な問題](#)

[SSO検証の手順](#)

[コンソールの少数のアカウントでSSOが機能しない](#)

[SSOが有効になっているとアカウントにサインインできません](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrellaで複数組織の親コンソールのシングルサインオン(SSO)を設定するために必要な追加手順について説明します。

## 概要

複数組織の親コンソールが存在する環境でシングルサインオンを設定する場合は、追加の手順が必要です。開始するには、[複数組織コンソールのSSOの設定に関するUmbrellaガイドを参照してください](#)。

## 一般的な問題

### SSO検証の手順

検証ポップアップは、SSOプロバイダーではなく親コンソールにリダイレクトされます。

この問題を解決する手順は、次のとおりです。

1. 親組織の管理者を、Admin > Accountsの下のFull Adminとして子組織に直接追加します。
2. 既存のユーザーを招待し、電子メールベースの招待を受け入れます。
3. 追加したら、SSOを検証します。

### コンソールの少数のアカウントでSSOが機能しない

SSOを有効にした状態で、SSOを実行しているすべてのアカウントが組織に直接追加されていることを確認します。(親コンソールからのアクセスであっても)直接追加しない場合、アカウントはSSOを有効にできません。

SSOが有効になっているとアカウントにサインインできません

SSOが有効になっている2つの組織でアカウントをアクティブにすると、ダッシュボードへのアクセスが失われます。login.umbrella.com/ssoのSSOリダイレクトでエラーが表示される場合があります。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。